

# 出前授業 その5 6年生社会「長く続いた戦争と人々の暮らし」

出前授業実施事例・・・（45分の場合）

## 学校側のねらいは？

- ・子どもたちに戦争の悲惨さや平和の大切さを実感させ、戦争に対する自分の考えを持たせたい。

## 郷土館の手立て

- ・実物資料を観察させたり触らせたりさせながら、道具の使い方を理解させ、なぜこのような道具が必要だったのかについて考えさせる。
- ・小さな資料の提示はプロジェクターで行う。

## 本時の学習活動

教師の働きかけと児童の活動	郷土館職員の動きと留意点
1. 郷土館職員の紹介（3分） 2. めあての確認	・自己紹介と活動の確認
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">戦争について自分の意見を持とう。</div>	
3. スクリーンに映った資料や実物を観察し、戦時中の生活について考える。（25分） （体験時間を含む） <b>【戦時中の食事について】</b> 現在と戦時中の給食・体格を比べ食料難を知る。 <b>【配給切符】</b> 「切符」「電車に乗る」「何かと交換できる」 <b>【戦時中の道具と衣服について】</b> ・メガホン「声を大きくする」「早く知らせる」 ・防火バケツ「水を汲む」「火を消す」 ・防空ずきん「頭を守る」「寒さをしのぐ」 ・国民防空読本「電球を隠すのはなぜ？」 ・モンペと上着・国民服「田舎の人が着る服？」 「農家の人を着る服？」 ・人形「女の子の遊び道具なのに可愛くない」 ・マンガ「戦争による生活の変化」 ・陶器の湯たんぽ ・標語と新聞記事 4. 空襲の様子を知る。（5分） ・映像から、戦争の恐ろしさを感じ取る。 5. 作文を聞く。（2分） 6. 戦争時の様子を動画で見る。（5分） 7. 感想発表：自分の意見を発表する（5分）	・実物資料及びプロジェクター資料を使って戦時中の生活についての発問と解説をする。途中で実際に資料に触らせる。 ・食糧難により、食べるものは少なく体格も今より小さかった。 ・食料や服は決められた物を決められた分しか手に入れられなかった。 ・空襲などの危険がから早くを避難させる。 ・学校だけではなく、街角などに準備されていた。 ・頭や肩を守る。 ・政府から発行された本。 ・女性はモンペ、男性は国民服しか着ることを許されなかった。贅沢が許されない。動きやすさ。 ・男の人形は兵隊、女の人形は国防婦人会の格好。 ・マンガからアルファベットが消える。 ・物資不足から鍋や釜などの金属が集められた。 ・我慢や貯蓄など、戦争への協力。 ・空襲の映像を見せたあと、どのような状況だったのか解説する。 ・小学生が書いた戦争を奨励する作文の朗読。

※学校側の要望にあわせて、時間配分や内容等を変更して解説することもできます。気軽にご相談ください。